

ル遊びも可能ではないか。
都市整備部長 スポーツの
できる公園づくりなど、多
様化するニーズに対応する
多目的な利用のあり方や具
体的な方針等について、検
討を進める必要がある。

議員 安全安心のまちづく
りにつながるボランティア
活動を広げるため、ボラン
ティア保険は重要だ。特に

障がい者の就労後の居場所
づくりを積極的に支援せよ



民進党 高谷 真一朗 議員

議員 我が国では平成26年
に障害者権利条約が批准さ
れた。本条約第30条には文
化的生活、レクリエーショ
ン、余暇及びスポーツへの
参加がうたわれているが、
現在の障害者総合支援法の
中では不足している部分で
あり、今後大きな課題にな
ると考える。障害者権利条
約について所見を伺う。

市長 経済的権利や社会的
権利だけではなく、前文で
文化的権利という言葉が明
確に示しているところが大
きな特徴だと考えている。

議員 現在、障がいのある
児童・生徒の放課後の居場
所については、児童福祉法
に基づき放課後等デイサー
ビスなどがあるが、障がい
のある成人の就労後の居場
所については、圧倒的に不
足しているのが現状だ。今
後、障害者権利条約の理念
をより向上させるために
も、更なる充実が必要だと
考える。所見を伺う。

市長 今後も障がい当事者
の意見が反映されるような
余暇活動の充実に取り組み

町会・自治会等の協力によ
る災害時避難行動要支援者
支援事業は、災害時の活動
を含むため、三鷹市市民活
動災害補償保険に天災補償
を付加すべきだ。

健康福祉部調整担当部長

議員 安全安心のまちづく
りにつながるボランティア
活動を広げるため、ボラン
ティア保険は重要だ。特に

民進党 高谷 真一朗 議員

が、障がいのある人もない
人も一緒に集える居場所に
なればいいと考えている。

議員 障がい者の就労後の
居場所づくりを求める声は
多くある。障がい者や保護
者へのニーズ調査を実施す
べきと考える。所見を伺う。

健康福祉部長 今年度、障
がい者等の生活と福祉実態
調査を実施する中で、居場
所に関しても調査項目の検
討要素としていきたい。

議員 就労後の居場所づく
りについては、地域生活支
援事業に明確な位置付けが
ないため、自治体の財政負
担が大きく事業実施や拡大
を望めないのが実態だ。活
用できる制度になるよう国
に對して要望してほしい。

市長 地域生活支援事業の
中の任意事業については、
財源措置が不十分なため機
会を捉えて国に對し三鷹市
長として要望を伝えている
。また、全国市長会等でも
補助金の拡充について要望
するとともに、消費税を根
拠としない財源を国に求め
ていくことも考えている。

人を、命を大切に
する

まちづくりを



民進党 谷口 敏也 議員

議員 人を、命を大切にす
るため、震災に強いまちづ
くりが必要だ。三鷹市耐震
改修促進計画改定から3年
がたった今、どれぐらいの
建物が耐震診断及び耐震改
修工事を行ったのか伺う。

市長 未耐震住宅は平成27
年度末時点で約7千900戸と
推定され、約91%の住宅が
耐震性を満たしている。

議員 特定緊急輸送道路だ
けでなく、一般緊急輸送道
路沿道の建築物も、耐震改
修工事を進めていく必要が
あると考える。所見を伺う。

都市整備部調整担当部長
一般緊急輸送道路について
も、都と連携を図る中で、必
要な取り組みを進めたい。

議員 避難所は誰もが安全
に生活するため、天井や壁
など非構造部材の耐震化が
必要と考える。所見を伺う。

市長 構造体の耐震補強工
事等にあわせて、一定の対
応を図っているが、更なる
安全性の向上に努めたい。

議員 避難所の生活スペー
ス全体のバリアフリー化に
ついて今後の対応を伺う。

杏林大学井の頭キャンパス
開校後の影響を考える



民進党 石原 恒 議員

議員 杏林大学井の頭キャン
パスの開校に伴い、三鷹
駅周辺の駐輪場不足は更に
深刻な問題となった。本年
4月から開始したサイクル

民進党 谷口 敏也 議員

市長 今後も高齢者や障が
い者が避難する上で負担が
軽減されるよう、施設の改
修に合わせて対応したい。

議員 市内全ての避難所で
開設訓練、運営訓練を実施
して、避難所のバリアフリ
ー化などの現状や問題点を
確認し、避難所運営マンニ
ュアルを随時改定すべきだ。

総務部危機管理担当部長
実働的な訓練は一定期間ご
とに実施し、検証すること
が望ましいが、人の配置の
問題もあり難しい。避難所
運営連絡会の中で図上演習
等による検証に努めたい。

議員 命を大切にすること
づくりの中で、自殺対策も
重要だ。自殺防止のために
医療機関、事業主、学校、民
間団体との連携強化が必要
と考える。連携方法を伺う。

健康福祉部長 多摩府中保
健所が管轄の6市をとりま
とめる自殺総合対策協議会
は、医師会、歯科医師会、保
健所、病院、自治体等で構成
されている。情報交換や連
携を強化し、原因究明とそ
の対策に努めていきたい。

市長 構造体の耐震補強工
事等にあわせて、一定の対
応を図っているが、更なる
安全性の向上に努めたい。

議員 避難所の生活スペー
ス全体のバリアフリー化に
ついて今後の対応を伺う。

**杏林大学井の頭キャンパス
開校後の影響を考える**



民進党 石原 恒 議員

議員 杏林大学井の頭キャン
パスの開校に伴い、三鷹
駅周辺の駐輪場不足は更に
深刻な問題となった。本年
4月から開始したサイクル

比約40台分の駐輪スペー
スが削減できた。大学や自
宅に駐輪している間、サイ
クルシェア駐輪場が長時間
空きスペースとなることが
今後の課題である。

議員 サイクルシェア事業
により利用できていた一時
駐輪場10台分が削られたこ
とになる。今後の駅周辺の
駐輪場対策について聞く。

市長 駅周辺で余裕のある
駐輪場を有効活用できるよ
うわかりやすい案内に努め
る。また、現状に合わせ駐
輪場整備基本方針の見直し
にも取り組んでいきたい。

議員 4月から三鷹駅、吉
祥寺駅と井の頭キャンパス
間の路線バスの利用者が増
えたと聞いている。近隣の大学の
懸念される。近隣の大学の
対応を参考にできるような市
もサポートして欲しい。

都市整備部長 杏林大学も
関東地区学生生活連絡協議
会に参加し、学生マナーに
ついて情報共有を行っている
と聞く。市も市内の大学
と連携しながら情報共有が
図れるよう支援したい。

その他の質問 地域子ど
もクラブ事業について



サイクルシェア事業ハブ駐輪場

ひとり親家庭ホームヘルプ
サービス事業を改善せよ



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 ひとり親家庭ホーム
ヘルプサービス事業では、
対象児童が学童保育所等を
利用できる時間はヘルパー
の派遣対象とならない。学
童保育所は、18時を過ぎる
と大人が迎えに行かなけれ
ば帰れず、有償の送迎など
経済的に負担がかかる。ホ
ームヘルパーの派遣費用が

シニア事業社会実験の結果
をもとに対策につなげるべ
きだ。現状の課題を聞く。
都市整備部長 約100人が利
用しており、定期利用等に

えた。状況について聞く。
都市整備部長 平日一日当
たりのバス利用者は、三鷹
駅との往復で約700人、吉祥
寺駅との往復で約1千100人
増加している。

議員 バス利用者は三鷹駅
より吉祥寺駅の方が約400人
多いことがわかった。三鷹
駅の利用者を増やし、市内
商店街を活性化させるため
にも積極的な駐輪場対策が
求められる。所見を聞く。

第二副市長 今後、大学関
係者から学生の通学状況
等を聞きながら駐輪場対策
も含め対応を検討したい。

議員 無灯火運転や雨天時
の傘差し運転、並走など学
生の自転車マナーの違反が
懸念される。近隣の大学の
対応を参考にできるような市
もサポートして欲しい。

都市整備部長 杏林大学も
関東地区学生生活連絡協議
会に参加し、学生マナーに
ついて情報共有を行っている
と聞く。市も市内の大学
と連携しながら情報共有が
図れるよう支援したい。

その他の質問 地域子ど
もクラブ事業について

かからない所得階層の家庭
にも送迎等の費用負担を求
める現在の運用は、ひとり
親を支える事業の目的と矛
盾しているのではないかと
考える。所見を伺う。

議員 職場体験は、勤労観
や職業観の育成、学ぶこ
と、働くことの意義を改め
て考える機会を与えるなど、
子どもたちの成長に重
要な役割を果たしている。

議員 職場体験先の中に自
衛隊がある。それを知った
市民から疑問や不安、中止
を求める声も寄せられてい
る。市長の所見を伺う。

市長 多様な職業の中から
興味や関心のある職場を選
び、体験ができるよう、
様々な職場の協力が必要で

自衛隊への
中学生の職場体験中止を



日本共産党 森 徹 議員

議員 本市の学校教育にお
いて、中学2年生で職場体
験を実施している。本体験
の目的及び生徒の成長にど
のような影響を与えている
か、所見を伺う。

市長 職場体験は、勤労観
や職業観の育成、学ぶこ
と、働くことの意義を改め
て考える機会を与えるなど、
子どもたちの成長に重
要な役割を果たしている。

議員 職場体験先の中に自
衛隊がある。それを知った
市民から疑問や不安、中止
を求める声も寄せられてい
る。市長の所見を伺う。

議員 自衛隊を職場体験先
として選んだ経緯を伺う。
自衛隊から受け入れの申し
出があったのか。

教育長 保護者から、アル

把握している。その上で、
学童の送迎等に経済負担が
生じないよう子どもの帰宅
時間を工夫してもらうこと
を理解してもらいながら協
議を重ね、ヘルパーの派遣
回数や時間を決めている。

議員 子どもがひとりで帰
宅することは、危険で心配
だ。また、ヘルパーの派遣
開始が19時からの場合、留
守番時間が長くなる、入浴
や食事、就寝時間が遅くな
る等、子どもの生活に大き
な影響が出る。子どもの生
活や健康に配慮して利用で
きるよう改善すべきだ。

子ども政策部長 子ども等
の生活状況に影響があり、
派遣時間に変更が必要な場
合は、検討することも可能
いまちづくりについて

議員 安全法制制のもと
で、自衛隊の任務、役割に
大きな変化が起きている。
自衛隊への職場体験は、ふ
さわしくないかと考える。教
育委員会の判断を伺う。

議員 キャリア教育の趣
旨にのっとった、子どもた
ちの主體的かつ多様な選択
肢の1つであると認識して
いる。体験の中で何を学ぶ
かなどの過程こそが大切な
学習だと考えている。

議員 自衛隊を職場体験先
として選んだ経緯を伺う。
自衛隊から受け入れの申し
出があったのか。

教育長 保護者から、アル

議員 自衛隊を職場体験先
として選んだ経緯を伺う。
自衛隊から受け入れの申し
出があったのか。

議員 自衛隊を職場体験先
として選んだ経緯を伺う。
自衛隊から受け入れの申し
出があったのか。

議員 自衛隊を職場体験先
として選んだ経緯を伺う。
自衛隊から受け入れの申し
出があったのか。